

「第22回手話言語研究セミナー」に参加しました。

2024年2月4日(日)に、京都市の全国手話研修センターにて開催された「第22回手話言語研究セミナー」(主催:社会福祉法人全国手話研修センター 手話言語研究所(厚生労働省委託事業))に参加し、「AI手話翻訳システム」の発表を行うとともに、手話とAIに関するディスカッションへの参加、およびソフトバンク株式会社殿の協力による展示・体験ブースでSureTalkのデモを行いました。

同セミナーには、対面で100名、オンラインで300名の合計400名の参加があり、午前中は、関西学院大学手話言語研究センターの「プロジェクト手話」、当協議会の「AI手話翻訳システム」、国立情報学研究所の「身体記号学」、NHKエンタープライズの「手話CGサービス・KIKI」の4件の発表がありました。午後には、午前中の発表の登壇者によるディスカッションおよび手話言語研究所による2023年度研究発表が行われました。ディスカッションでは、「AIとの対話が手話言語生活をどのように豊かなものとするか?」、「ニーズの発掘と技術的な到達段階をどこまで計画立てられるのか?」、「手話言語データ提供に対する見返りや報酬をどう考えるか?」などに関して、会場の参加者を交えて、活発な討議が行われました。

セミナーの最後では、全日本ろうあ連盟の河原理事より、「SiLa協議会のように、当事者が参加する活動が重要であり、手話言語とAIを研究している大学や研究機関は皆、SiLa協議会に加わっていただきたい」とのコメントがありました。



ディスカッションの様子



SureTalkのデモの様子

以上